

English  
in your  
Pocket

楽しく  
英会話!

vol.2



**You may (might)  
want to...**

...するといいよ。

|

場の雰囲気を感じて、相手の気持ちを尊重して提案や依頼を行う場合や何かを促したい時の表現です。You must や You had better...ではちょっときつすぎる場合に使います。

A: TCFL coffee shop released a new green tea latte.

B: Oh, did you try it?

A: Sure I did. You are a green tea lover. You might want to try it.

A: TCFL 珈琲店が新しい抹茶ラテを出したよ。

B: 試してみた？

A: もちろん。君、抹茶好きだろ。試してみたらいいよ。



新茶の季節になりました。新鮮な抹茶の Flavor は魅力的ですよ。

さて、似たような助動詞の表現でも以下の様にちょっとニュアンスが異なります。

1. **must** →かなり強制力があり、目上には使うことはありません。自分 I を主語にすると自分に課す義務になります。
2. **have to** →外部の状況からそうしないといけない。義務の度合いが高くなります。
3. **had better** →強制や命令を含む、上から目線での表現で、「しないとまずいことになるよ」のニュアンスです。
4. **ought to** →客観的な意見や義務を述べる場合。「するべきだね」のニュアンスです。
5. **should** →義務を表す。親切でもちょっと威圧的に聞こえてしまいます。

皆さん、薫風の季節を楽しんでください。Enjoy the warm breeze of spring!

⇒次回のポケットイングリッシュは5月27日(月)。お楽しみに！